※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾀﾃﾞｨ

教科	（学）ﾁｬﾚﾝｼﾞｽﾀﾃﾞｨ	科目	高大連携	単位数	１～１０単位	年次	1，2，3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本校では近隣の大学と連携した高大連携授業を開設しています。大学の先生が本校で授業をする日もあれば、実際に大学へ行き講義を受ける日もあります。専門的な分野を深く学ぶことができます。
・連携大学の講義（講座）内容、受講期間、曜日、時間等についてガイダンスを行います。興味のある方は、参加してください。
・高大連携授業では、あるテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・高大連携授業の受講後に活動報告書とレポートの提出があります。内容を審査の上、一定の要件を満たせば単位を修得することができます。

２　学習の到達目標

（１）大学における実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働することで、関連する技能を身に付けるようにする。
（２）大学で学ぶことにより、専門的な分野に関する興味・関心を育成するとともに、多様な世界観や価値観が存在することに気づかせ、生涯を通して社会の変化に対応する力を養う。
（３）生徒が将来のあり方、生き方を考える契機とし、進路選択に向けて自己理解を深め、主体的に学ぶ姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	大学との連携授業を通して、より高度な知識や技術を身に付けている。	高度な知識・技術習得に向けて学習する中で、自ら課題を設定し、課題解決に必要な情報を自ら集め分析し、学習を深めるために学びの探究を実践している。	高大連携を通して得た知見を活かして、他者と協働する中で、新たな価値を創造し、学びの充実に向けて主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ガイダンス	高大連携授業のガイダンス	a:ガイダンスを通して高大連携授業の趣旨を理解している。 b:連携大学や受講内容に関する情報を集め、整理・分析し、自分に必要な情報をまとめ表現している。 c:高大連携授業に参加する意義を考察し、自己の進路実現に向けて主体的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート	ワークシート	観察
2学期	高大連携授業	高大連携授業 ・本校での授業 ・大学での授業	a:受講した分野に関する基本的な知識や技術を身に付けている。 b:学習の過程において、自ら課題を発見し、課題解決に向けて主体的かつ協働的に解決する力を身に付けている。 c:高大連携授業を通して、新たな価値に気づき、将来の在り方や生き方について振り返り、進路選択への考察を深めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
3学期	活動報告	活動報告 ・活動報告書 ・レポート	a: 受講した分野に関して高度な知識や技術を身に付けている。 b:活動報告書・レポートの内容について考察を深め、自ら新たな目標を設定し、より高度な学習を求めて学びの探究を実践している。 c: 高大連携の学びを振り返る中で、新たな価値を創造し、学びの充実に向けて主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	レポート	レポート	レポート 活動報告書

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度